

報道関係者各位

# いま、あなたに知って欲しい。メイクが引き起こすポジティブな変化。 写真展「dear face –自分と出逢うとき–」開催

視覚障がい者の方をモデルに、メイクがもたらす心の豊かさが現れた瞬間を写した写真展



一般社団法人日本ケアメイク協会（本社：群馬県高崎市 理事長：山岸加奈子）は、視覚障がい者のための日本発 メイク技法「ブラインドメイク」を広める活動として、写真展「dear face –自分と出逢うとき–」を2024年 11月1日(金)～11月10日(日)までノーガホテル 上野 東京 1階ロビーギャラリー、2階 ライブラリーラウンジ にて開催いたします。

「ブラインドメイク」とは、視覚障がいを持つ方でも手指の感覚を使い、鏡を使わずに自分でフルメイクができる化粧療法です。現在日本で視覚障がい者として障がい者手帳を保持している方は約30万人。手帳は取得していないもの、生活で視力に不便を感じている方は約160万人とも言われています。

## ■ブラインドメイク写真展の目的

この写真展では、視覚障がい者の方々をモデルに、メイクがもたらす心の豊かさが現れた瞬間を切り取りました。写真展をきっかけに、視覚障がいをお持ちの方だけでなく、ご家族や関係者、そして晴眼者であるすべての方々へ、個人差を尊重しあい、多様性が当たり前存在する社会をともに考える、そんな機会になればと願っております。

タイトル：写真展「dear face –自分と出逢うとき–」

会場：ノーガホテル 上野 東京 1階ロビーギャラリー、2階 ライブラリーラウンジ（東京都台東区東上野2丁目21-10）

会期：2024年11月1日（金）～11月10日（日）0:00～23:59

入場料：無料 主催：一般社団法人 日本ケアメイク協会 協力：（株）OSAJI 企画制作：日東電化工業（株）

この写真展は、健やかで美しい皮膚を保つためのスキンケアライフスタイルを提案する敏感肌ブランド「OSAJI（オサジ）」のブランドファウンダーであり、当協会の副理事である茂田正和が総合プロデュースしました。



日本ケアメイク協会 副理事長  
写真展総合プロデューサー  
茂田 正和

▶ブラインドメイクの訴求活動に取り組む  
OSAJI（オサジ）ディレクターの想い



## ■写真展開催を記念して、図録を販売

写真展では伝えきれない表情を図録にて収録。20代から70代の視覚に障がいを持った男女6名がモデルとして参加しています。

タイトル：「dear face –自分と出逢うとき–」 販売開始日：2024年11月1日（金）  
定価：2,500円（税込） 仕様：A4判／60ページ 発行：一般社団法人 日本ケアメイク協会

一般社団法人日本ケアメイク協会



日本ケアメイク協会は、メイクをしたい視覚障がい者にブラインドメイクの存在を伝えその技術を学ぶ環境を提供するため活動しています。ブラインドメイクを視覚障がい者に指導することのできる「化粧訓練士」の養成、認定を中心に行っている組織です。ブラインドメイクの情報が拡散される仕組みを作り、多くの視覚障がいを持った当事者やその近親者に情報を伝達していきます。

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

株式会社OSAJI 企業広報:酒井陽子 電話:080-6051-1797 メールアドレス:yoko.sakai@osaji.inc